



姉妹都市

はまぐり音頭 踊りパレード(踊り流し)



羽咋の夏の風物詩 はまぐり音頭

はまぐり音頭は、昭和38年に誕生した羽咋独自の民謡です。羽咋まつりでの、各種団体がそろいの浴衣や法被で行う踊りパレード(踊り流し)は、長年市民に愛されてきました。
【歌詞】さあさ来やんせ 千里の浜へ
貝がヨ 貝がドドンと 寄せている
(サテ) サックリ サックリ チョイトせ
サックリ サックリ チョイトせ
静かななぎさを思わせるゆったりとしたメロディーは、羽咋市民になじみ深いものです。コロナウイルス感染防止のため、今年の羽咋まつり(8月20日(土))では、踊りパレードは行いませんが、羽咋市固有の文化であるはまぐり音頭を今後も継承していきます。

教えて! 消費生活

災害後の住宅修理トラブルに注意!

Q 突然訪問してきた業者に「ひょうなどの被害で破損した屋根などの修理を火災保険で自己負担なく修理できる。当社で見積もりを出し、保険適用されれば保険金が出る」と勧誘されました。ひょうで自宅の屋根や窓ガラスの一部が破損しており、契約するかどうかも迷っています。信用できますか。

A 「自己負担なく修理ができる」と勧誘を受けても、すぐに契約をするのはやめましょう。勧誘を受けた時点では修理工事の費用が保険金額の範囲で収まるかどうか、保険金が支払われるかどうかは分かりません。修理工事の契約をする際は、保険金請求サポート手数料の有無、キャンセル時の違約金など、住宅修理工事契約や保険金請求サポート契約の内容について、業者に確認することが重要です。業者の説明をうのみにせず、加入している火災保険などの内容を確認し、保険会社に相談することをお勧めします。修理する場合は、慌てずに複数の業者から見積もりを取り、慎重に検討しましょう。

消費生活の相談は市消費生活センター ☎fax 兼用②01133 (来庁相談要予約) 相談時間 平日午前9時~午後4時

ふじおか Culture

~藤岡の文化を探る~

【問い合わせ 文化財保護課 (☎③5997)】 No.77

市街地南東の諏訪神社境内に、高さ5mを超える大きな石碑が建てられています。これは世界文化遺産の高山社2代目社長で高山社蚕業学校の初代校長を務めた町田菊次郎の頌徳碑で、本市の重要文化財に指定されています。

町田菊次郎は明治8年に高山社に入り、長五郎の教えを受けて「清温育」を発展させて高山社の名を全国にとどろかせた人物です。19年に長五郎が亡くなった後の高山社を引き継ぎ、36年の内国勸業博覧会において、「高山社養蚕法案」と「統計表」を出品して名誉金賞を受賞しました。その後、国内の蚕業関連団体の要職を歴任し、国内養蚕業の発展に尽力しています。このような菊次郎の指導の下、41年に高山社の生徒数は最大となっています。また碑文からは、華々しい活躍だけでなく「救世済民(世を救い民を済む)」が自分の天職であると常に任じていたことなど、菊次郎の実直な人柄がうかがえます。

町田菊次郎頌徳碑 ~高山社2代目社長の功績~

菊次郎は大正6年に亡くなりますが、その業績を顕彰するため、昭和13年に頌徳碑が建てられました。建碑時の写真では神社敷地内の北側に建てられていたことがわかります。現在、頌徳碑は移築されて、尊敬する師である長五郎の碑と肩を並べて建っています。



建碑時の写真(左:町田菊次郎頌徳碑、右:高山長五郎功徳碑)

いまからできる! 日常防災 Everyday disaster prevention

ローリングストックを始めよう!

大規模災害が発生すると、電気、水道、ガスなどのライフラインの停止や物流の停滞により、生活に必要なものが手に入りにくくなります。コンビニやスーパーマーケットなどは人が殺到し、すぐに商品が無くなるかもしれません。

ローリングストックとは
普段使う食料や日用品を、もしもの場合に備えて多めに買って置き、古くなったものから日々の生活の中で使用し、その使用した分を買い足しておくことで常に新しいものを保存する備蓄方法です。

ローリングストックのメリット
ローリングストックを取り入れると、賞味期限を管理する負担が少なくなります。災害用の備蓄品は長期的に保存できますが、ストックした食料などは定期的に消費されるため、長期的な管理をする必要がありません。

災害時に自分や大切な家族を守るには知識と備えです。防災は日常に転がっており、生活と密接につながっています。防災を難しく考えず、簡単な日常の行動と結び付けて取り組んでいきませんか。

【問い合わせ 地域安全課(☎②7444)】

これにより賞味期限を切らしてしまう心配も、賞味期限切れで廃棄することもなくなり、フードロスの削減にもつながります。

